

EAM を用いた歪み解析

情報科学科 19610311 西谷滋人

1 README.org

1.1 記述

全ての基本となる README.org の雛形.

拡張によって追加する方がいいのか, あるいはあらかじめ記述があって, さらに使い方の基本みたいなのがあっていいよね.

1.2 html 生成

- `c-c c-e h(tml) o(ut)`

で生成してくれる.

2 内容 (下書き)

2.1 my_help の開発コンセプト

my_help 自体は, TODO ファイルや memo である. org-mode を利用しているので, 長文や latex, html にも対応している. my_help に emacs のキーバインド (振る舞い) を書くことによって BMS となる. 私たちはノートに memo をするが, 無くしてしまう or どこにやったか分からなくなる. \rightarrow my_help を使うとそれがなくなる. いつも web で同じことを検索している. jupyternotebook の使い方とか, org-mode の使い方とか.

人間の脳が知識を何かの拍子に思い出す, キーワードが手がかりとなって違う分類, 別の階層の記憶, 知識を思い出す様に, システム上でも同じことができるシステム. 人間の脳において知識が分類され, 階層に分けられている (と仮定して) 様に, コンピュータの中でも分類化, 階層化された知識を直交補空間的に知識を呼び出すことを可能にする tool.

my_help に共有するシステムをのせると強制することができる. BMS: 振る舞い管理システム (Behavior Management System), Github など...

2.2 my_help の特徴

- emacs の Markdown である org-mode を利用.
- org-mode で作成した文章は emacs 以外でも利用できる.
- 例えば, github では .md と同じ様に .org に対応している.
- org-mode の export 機能を利用すれば HTML や LaTeX など様々なフォーマットに変換可能.

(<https://qiita.com/dwarfJP/items/594a8d4b0ac6d248d1e4>)

- my_help を使うにあたり, emacs と org-mode の使い方を master しなければならない.
- CUI/CLI のように terminal 上で動かす.

- `command` で呼び出すとすぐに起動する.

2.3 my_help の振る舞い

terminal 上で my_help file 名と打つと起動する.

`delete delete HELP_NAME help`

`edit edit HELP_NAME help`, emacs を使って org-mode で編集

`list list all helps, specific HELP, or item`

`new make new HELP_NAME help`

TODO として使うとき, DONE のやつは archive(書庫) に入れる. いらなくなったから.

2.4 my_help 課題, 開発目標

my_help を共有することで, 知識の効率的な共有を進める.

- my_help は時々動かない.
- どういう error?
- version をあげた.

```
< p target_help = File.join(@local_help_dir,file+  
< if local_help_entries.member?(file+'.org')  
<   system "emacs #{target_help}"  
< else  
<   puts "file #{target_help} does not exists in #{  
<   puts "init #{file} first."  
---  
> target_help = File.join(@local_help_dir,file)  
> ['.yaml','.org'].each do |ext|  
>   p target_help += ext if local_help_entries.mem
```

2.5 アクティブラーニング

- 今の日本の教育ではあまり馴染みがない.

テキストや教授者から知識を得るのではなく, 自らも参加者になって知識を共有 (?) する.

- AM(acquisition metaphor)
- PM(participation metaphor): 学習あるいは学習者は参加者. 学会活動もこれ. 研究者が学会で認められるということは, その分野での用語を使って参加者とコミュニケーションを取れることであり... 論文集を出すことや初心者向けのテキストを書いたりする活動も学習支援のひとつ.

	acquisition metaphor	participation metaphor
学習目標	個々を豊かにする	共同体の構築
学習とは？	何かを獲得する (acquisition))	参加者 (participant) となる
学習者 (student)	受容者 (消費者), 再構築者	周辺にいる参加者, 徒弟
教授者 (teacher)	供給者, まとめ役, 媒介者	実践や論考の修得者
知識, 概念	資産, 所有物, 一般商品 (個人のあるいは公共の)	実践, 論考, 活動の一側面
知るとは	持つ, 所有すること	所属する, 参加する, コミュニケーションすること

内世界，外世界

- 内世界は自分の中の知識
- 外世界はテキストや論文などの知識